

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年8月20日（金）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアP（P1，P2）

3 確認項目

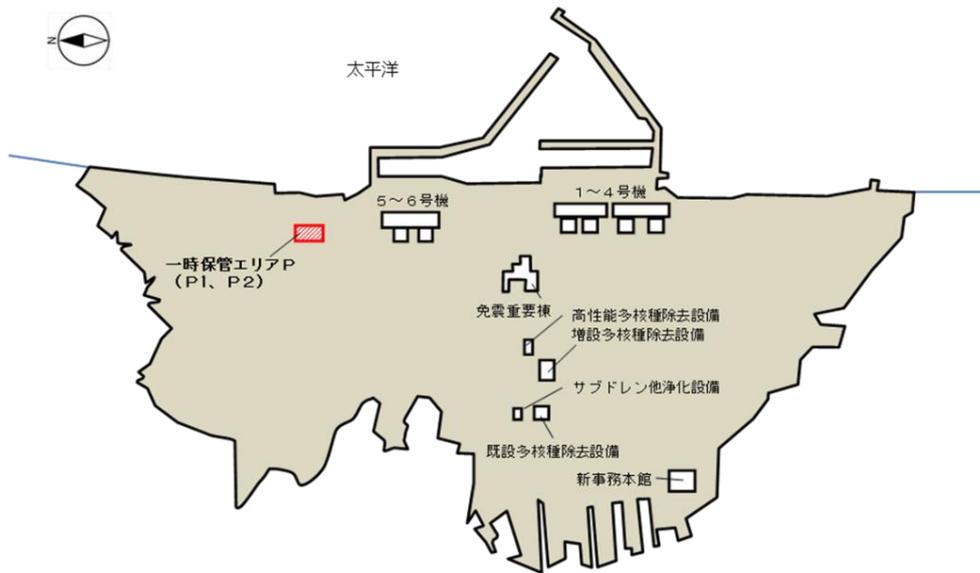
- (1) 瓦礫類一時保管エリアPにおける収納容器の内容物確認状況
- (2) 瓦礫類一時保管エリアPの現況確認

4 確認結果の概要

(1) 瓦礫類一時保管エリアPにおける収納容器の内容物確認状況

令和3年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管していた収納容器（コンテナ）から放射性物質が漏えいした事象が判明したことを踏まえて、東京電力では過去に保管したコンテナに内容物の把握が困難なものなどが存在するとして点検作業を進めており、コンテナの内容物確認が行われていることから、本日は一時保管エリアPでの作業状況を確認した。（図1、写真1）

- ・同エリアの北側において、東京電力協力企業によりコンテナの蓋が開放され内容物確認作業が行われていた。内容物は可燃物や瓦礫など様々であった。確認した範囲ではコンテナ内に水が溜まっている様子は見られなかった。（写真2）
- ・東京電力によると内容物の確認を実施するコンテナは4,011基あり、内容物確認作業の完了時期は令和4年3月を予定しており、コンテナ番号と内容物の紐付けをシステム管理するとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
内容物確認作業の様子



(写真2-1)
内容物確認中のコンテナ



(写真 2 - 2)
コンテナの内容物 (可燃物)



(写真 2 - 3)
コンテナの内容物 (瓦礫)

(2) 瓦礫類一時保管エリア P の現況確認

一時保管エリア P 排水枡の放射能分析において、6月29日に採取した検体の全ベータ値が上昇していること一時保管エリア P 2 に保管されていたノッチタンクの一部の蓋がずれて放射性物質を含む雨水が流出した可能性があることを受けて、前回 (8月16日) に引き続き、一時保管エリア P の状況を確認した。(図 1)

- ・ 前回確認時と比較して、ノッチタンクシート養生作業が進捗していた。
(写真 3)
- ・ 現場確認時降雨はなかったが、排水溝、排水枡には水が溜まっていた。確認した範囲ではゼオライト土嚢の破損等は確認されなかった。(写真 4)



(写真 3 - 1)
前回撮影 (令和 3 年 8 月 1 6 日)



(写真 3 - 2)
今回撮影



(写真4-1)
一時保管エリアP東側の排水溝の様子



(写真4-2)
一時保管エリアP北側の排水柵の様子

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。